

エネルギー変換で凝縮を行う 『Miraクルコイル』が話題

E T E



エネルギーの持つガス状の冷媒にファンで風を当てて熱交換を図ることで熱エネルギーを大気に放出し、液化を図っていた。これに対し、Miraクルの凝縮器で熱交換率が一

番悪化する夏場に最大の省エネ効果を発揮する。また、Miraクルラインを通すラインと通常のラインにバルブで切り替

消費電力・契約電力の大幅削減を実現する

ルコイルは、冷媒ガスに含まれる熱エネルギーを、巡回運動させることで、そのエネルギーをなくして冷媒の凝縮・過冷却を行う。その結果、冷媒の液化率を向上し、室内機

の能力もアップ。設定温度への到達時間も短くなるため圧縮機の稼働時間も減り、省エネを実現する。

最大の長は熱交換を行わずに冷媒の凝縮を可能にすること。外気温に左右されずに安定して液化効率を上げることができるとある。この機能により、既存にメンテナンスフリーで利用できる。

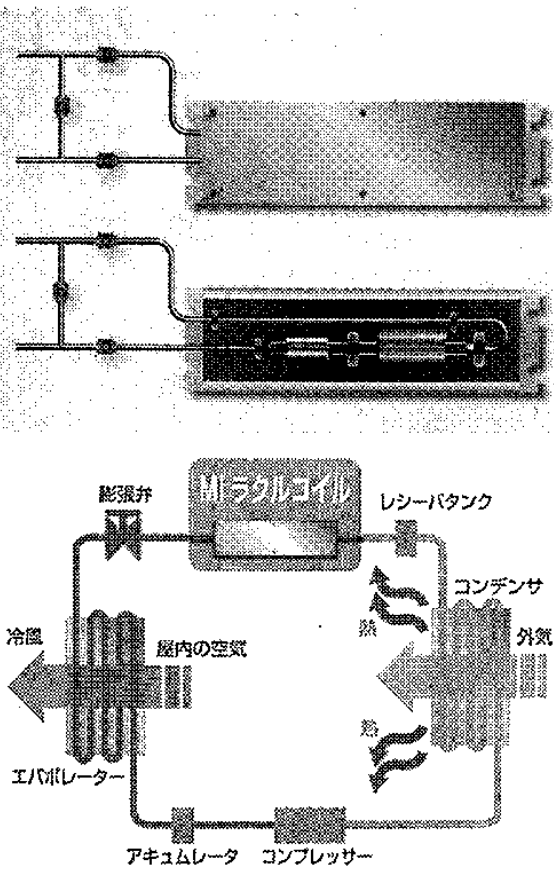
このように様々なメリットを持つMiraクルコイルを同社では現在、EV車やPHV車の車載用エアコンシステムとしての活用を推奨。将来的には空調システムの全てに代わるシステムとしての定着を目指している。

<http://ete-eco.com/>

評を博した。

ETE(埼玉県本庄市西富田一〇一・I.O.C. 同社の推奨する「Miraクルコイル」とは、室外機の凝縮器の後に設置するだけで既存の凝縮器で凝縮しきれなかった冷媒を凝縮し、冷媒の液化率を高める効果を発揮する空調機・冷凍機・チラー用省エネ装置である。通常の空調機などに用

いるデモを交えて紹介、好



Miraクルコイル④とシステム図⑤